

「ミナミ御堂筋の会」は、ミナミの御堂筋沿道の不動産オーナーが連携し、「世界の御堂筋」をめざして、まちのあり方を提案し、実現に向けて働き私たちは、ミナミ御堂筋の沿道企業体です。かける団体です。

世界的な建築家、隈研吾氏、ミナミ御堂筋で講演！

2月24日（金）に、世界でご活躍の日本を代表する建築家、隈研吾氏をお招きした講演会「世界のメイン・ストリートと建築」を開催しました。

隈先生からは、世界の建築、メイン・ストリートの動向、そして、ご自身が手がけられた建築や、そこから着想を得た「ミナミ御堂筋のあるべき姿」の示唆に富むご提言を幾つも頂戴しました。当会としても、このご提言をミナミ御堂筋のビジョンに活かして参ります。

当日は多数の方にお越し頂き、興味深いお話に深く聞き入っておられました。アンケートでも多数の方にご好評を頂き、また、当会の活動について知って頂く機会となりました。

本講演会は、大阪市等で推進する御堂筋80周年記念事業とも連携しながら実施致しました。

ご来場頂いた皆様、今回の講演会の後援、特別協力、広報協力などを頂いた皆様に、厚く御礼申し上げます。



発行：ミナミ御堂筋の会 URL：<https://www.facebook.com/minami.midosuji>

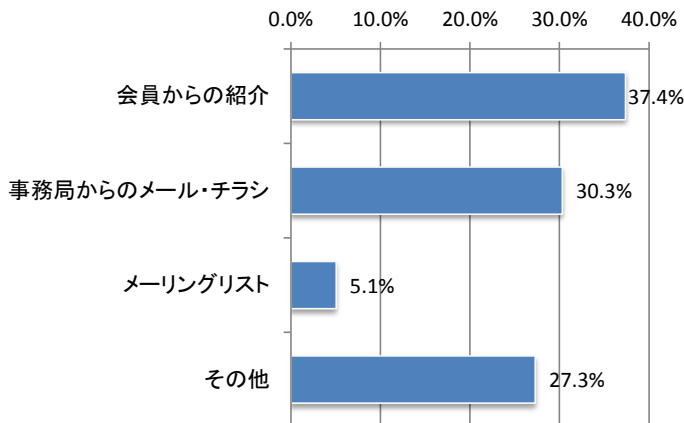
問い合わせ先：ミナミ御堂筋の会事務局

（株式会社地域計画建築研究所大阪事務所 内【担当：絹原・羽田】）

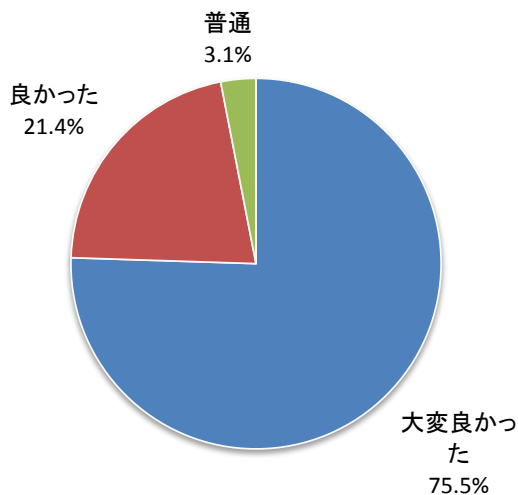
〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7 日本生命今橋ビル10F

TEL：06-6205-3600 FAX：06-6205-3601 E-mail：minami-midosuji@arpak.co.jp

Q1. 本日の講演会は何でお知りになりましたか。
(複数可)



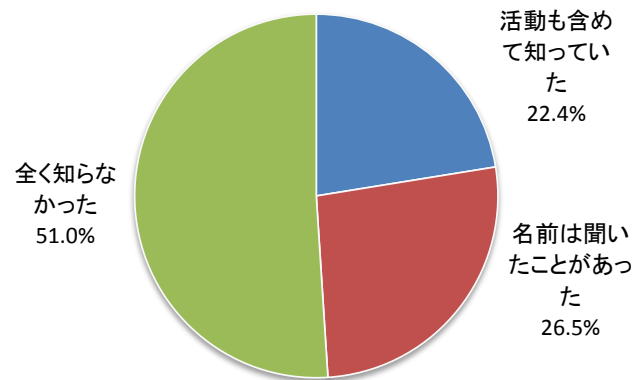
Q2. 本日の講演はいかがでしたか。



<理由 (主なもの抜粋)>

- ・これからのミナミ、大阪のまちづくりにとって、とてもすばらしい内容でした。
- ・見たこと、聞いたことのある建物にまつわるお話がたくさん出てきて、御堂筋、大丸新本館を含む心齋橋の街にも生かして欲しいと思う考え方でした。
- ・隈先生の建築のつくり方、都市への影響をどう工夫されているか、各作品を事例に分かりやすく説明され、都市づくりへの理解が深まりました。
- ・人と都市、ストリートとの関わり、コンセプトが明確に意識されることで美しく活気のある後世に残せる形となる考え方に共感しました。
- ・事例をふまえた内容でわかりやすく興味もてた。
- ・隈先生の話に気づきが多く大変面白かった。
- ・人間くさい、ヒューマンタッチな時代感にとっても共感できました。
- ・人のための道路・建築・空間などの考え方に感銘を受けた。
- ・隈先生のお話をもう少し伺いたかった。
- ・質疑の時間を取って欲しかった。
- ・ホテルの完成を楽しみにしている。

Q3. ミナミ御堂筋の会についてご存じでしたか。



Q4. 今後、御堂筋 80 周年や、ミナミ御堂筋の会に期待する取り組みなど。(主なもの抜粋)

<ミナミ御堂筋の将来像やまちづくりについて>

- ・大阪ミナミのアイデンティティを象徴したものに。
- ・多くの人が集まるストリートに。
- ・無駄な容積率 up などせず、この街並みを活かした街作りを進めて欲しい。
- ・大好きな御堂筋、心齋橋筋がもっともっと魅力的になる事を願っています。
- ・“車から人へ” “世界に誇れる” を実現する様に。
- ・ふらっと来たくくなるようなよりすてきな通りに。通りでゆっくりできるところが少ない。
- ・休みの日に散歩に出掛けたくくなるような通りに。
- ・かつての品のある御堂筋・心齋橋になれば良い。

<当会の活動について>

- ・地道な“にぎわい創り”や課題対応も大切ですが、20~30年先を見通した夢のある、超一流の絵姿を示して行くことが必要。そしてそのビジョンに向けたロードマップも示すことで、本当に実現するんだという意気込みを見せてほしい。
- ・御堂筋は梅田~難波のトータルなもの。キタも含め連携して活動を進めて頂きたいと期待致します。
- ・御堂筋だけでなく通りや他の筋のことも考えたプランが必要。
- ・大阪のメイン・ストリートである御堂筋が今後益々の発展出来る取組を是非とも続けてください。
- ・ミナミ、御堂筋の新たな時代のオピニオンリーダーと期待しています。
- ・南からスタートした整備が早く北まで進んでほしい。自転車を絡めた一大イベントを企画して。
- ・自転車道の件など利用している者としても感動した。これからも期待しています!
- ・大阪のメイン・ストリート、世界に発信するユニークで充実した街づくりを期待しています。
- ・御堂筋に行きたいと思うような街作り、イベント等期待しています。
- ・私共も街づくりに関わらせていただいております、この取り組みに直接的に関わり、よい御堂筋づくりに参画させていただきたいと思っております。

ミナミ御堂筋の会・高橋代表理事(株式会社スポーツタカハシ) 挨拶

本日はお忙しい中、多数ご来場頂き、ありがとうございます。当会はミナミ御堂筋の会と申しまして、周防町から難波までの間のビルオーナーの会です。何とか、この会をもって御堂筋をよくしていきたい、まちのバリューを上げていくため、いろいろな取り組みもしております。



世界に誇る御堂筋での自転車問題、駐輪問題、こんな不作為なことが通っている国はありません。何とかは正したいと思っている中、行政のおかげで、御堂筋のマルイさんから千日前通まで側道を閉鎖して自転車通行空間を造っていただきました。今後、これを北へ向かって延ばしてほしいと思います。

嬉しいことが二つあります。一つは、今日この場所をお借りしている大丸心齋橋本店は、ヴォーリズによる昭和の名建築のファサードを残してビルを建て替えるということで、非常に嬉しく思います。まさに大阪が誇るレガシーです。今や心齋橋筋商店街は日本一の商店街となり、インバウンドの観光客もさらに増えると思いますので、これに合わせて上質な大阪をもう一回蘇らせてほしい。

もう一つ、当会会員のベルコさんの旧新歌舞伎座は隈研吾先生が手がけられている建築ですが、これも村野藤吾による昭和の名建築です。大阪を紹介する昭和の映画で、ミナミでは新歌舞伎座が映っていました。素晴らしい建築のファサードをそのまま残し、隈先生のエッセンスでブラッシュアップしたビルを建てるということで、これも非常に嬉しいことです。レガシーは失うと二度と戻りません。この二つで御堂筋のバリューが上がっていく、大変喜ばしいことです。

今回の講演会に関わって下さった関係各位、皆さんにお礼を申し上げます。ありがとうございました。

大阪市建設局道路部・渡瀬部長 挨拶

本日は、このような席にお招きいただきまして誠にありがとうございます。また、皆さまには日頃から大阪市の道路行政に多大なご協力をいただいております、ありがとうございます。



吉村市長も、御堂筋につきましては「車中心の道路から人中心の道路へ」、さらには「通る道路から憩い、集う道路へ」と、いろいろところで発言されております。

御堂筋完成 80 周年をこの 5 月 11 日に迎えることになります。この 1 年間を通じまして、先ほどの市長の考え方について地元・沿道・市民の皆さまを含め幅広くご意見を伺いたいと考えております。

昨年、御堂筋の千日前通以南の側道 1 車線において、自転車が通行する空間と歩道を拡張した空間を造らせて頂きました。さらに、旧新歌舞伎座の方も再整備をしていきたい。その先には造った空間を北へずっと延ばしていきたい。また、道路もまちの一部であり、沿道の皆さまと一緒に道路空間の活用についても考えていきたいと思っております。

本日のご講演が盛会に終わりますように、それからこの会のいろいろな議論が御堂筋を良くするきっかけとなればと祈念致しております。

株式会社大丸松坂屋百貨店心齋橋店・西阪店長 挨拶

日頃よりご支援、ご愛顧を賜り誠にありがとうございます。本日は、世界を舞台に活躍されている建築家、隈研吾先生をお招きしての講演会を私どもの施設で開催できることを大変嬉しく、少しでもお役

に立てることが大変光栄と感じております。きっと、先生のお話は私たちに多くの気付きや発見を与えてくださると思います。

大丸心齋橋店は、旧本館が現在、新築工事中でございますが、2019年秋の開業を目指して鋭意奮闘しております。御堂筋側の外壁におきましては、ヴォーリズの建築設計をそのまま再生利用し、新しい建築物との調和を図ってまいります。御堂筋は今年 80 周年ということでございますけれども、新しい建物、ヴォーリズのデザイン、そして、この素晴らしい御堂筋、三つの調和を図って未来につなげていきたいと考えております。皆さまのご期待に添えるように、新しいお店を頑張っつづくってまいります。

また、私どもの事業活動を通じて、御堂筋はもとより心齋橋、ミナミの発展に少しでもお役に立てればと願っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。



ミナミ御堂筋を取り巻く動きについて

(当会幹事・株式会社播重 藤本有吾より)

大阪のメイン・ストリート、御堂筋。現在、ミナミの御堂筋は、大きな変化の最中にあります。インバウンド観光で海外からの観光客も急増、テナント構成も大きく変わりました。交通では自動車が減り、歩行者・自転車の通行が増えています。

このような変化に取り残されるとの危機感から、ミナミの御堂筋沿道の地権者が力を結集し、情報交換や意見表明を行うための組織が必要との認識に至りました。

そして、平成 27 年 7 月 28 日、「ミナミ御堂筋の会」を設立。毎月の定例会合や会員相互の交流・親睦、大阪府・市との協議・意見交換を進めて参りました。

平成 20 年から始まった、御堂筋イルミネーション。平成 26 年からは、長堀通から難波駅前までイルミネーションが延長され、ミナミの御堂筋沿道を華やかに彩ることとなりました。

当会の発足のきっかけも、この御堂筋イルミネーションの延長であり、今年、大阪府様、照明デザイナー長町様のご協力により、当会会員の建物やバナー広告も、沿道の景観を演出することとなりました。

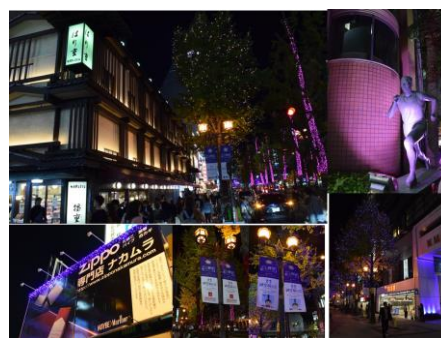
御堂筋の空間再編。平成 27 年 2 月に、大阪市より、千日前通からなんば駅前までの区間をモデル整備する方針が打ち出されました。この整備を官民協働により進めるべく、関係者による協議会を組織。これまで 12 回の会合を開催し、大阪市との協議・調整を進めてまいりました。

そして、昨年 11 月、モデル区間の整備が完成。オープニングセレモニーを開催し、ミナミに新しく生まれた人のための街路空間を、関係者で祝しました。

あわせて、大阪市とも協働し、駐輪禁止、自転車通行の啓発活動も実施致しました。地域の長年の課題解決に向け、ハードの整



ミナミ御堂筋の会設立総会



御堂筋イルミネーションにおける
当会建物による演出、バナー広告の掲出



モデル区間整備オープニングセレモニー

備だけでなく、ソフトの運用のモデルともなるよう、これからも取り組んで参ります。

そして、今年、御堂筋が建設されてから80周年の記念すべき年。関一（せきはじめ）市長の「都市大改造計画」のメイン事業であった御堂筋の拡幅工事は、着工から11年という長い年月をかけ、昭和12年5月11日、開通の日を迎えました。

それから80年。御堂筋には、新たな街路空間が生まれ、沿道のまちづくりの動きも活発化しております。大阪市では、実行委員会による80周年記念事業も展開されており、そのPRロゴが発表されました。今年はシンポジウム他、さまざまな記念事業が予定されております。80周年を契機として、これからミナミ御堂筋はどのようなストリートをめざすべきなのか。関係者が共有できる将来像、ビジョンが必要だと考えております。当会は、有識者による講演会を定期的に開催し、ミナミ御堂筋のあり方について議論を重ねております。本日の講演会もその一環として開催しており、隈先生のご提言も頂きながら、ミナミ御堂筋の将来を皆様と一緒に考える機会といたたく存じます。

当会は、沿道の価値向上を目指し、Environment、Economy、Empowermentの3つのEを掲げ、取り組んで参りました。これからも、関係者の皆様と協力しながら、「世界に誇るメイン・ストリート、御堂筋」の実現に取り組んでまいります。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。



御堂筋の新たな街路空間

隈研吾氏「世界のメイン・ストリートと建築」講演内容

※下記内容の無断転載は固くお断り申し上げます。

何が、「人のための御堂筋」に重要か

御堂筋は、日本のメイン・ストリートとして大きなポテンシャルを持っています。その中に位置する村野藤吾先生の新歌舞伎座の再生プロジェクトに携わることができ、こんなに光栄なことはないと思っています。

「自動車のまちから人間のためのまちに」「都市を人間に取り戻す」ということが、世界中で言われるようになりましたが、では、何が人間らしいまち、道なのか、をお話したいと思います。



メイン・ストリートが備えるべき、「人のスケール」「質感」「場所の力、個性」「機能の複合性」

人間のためのまち、道を考えるときに、一つにはスケールが非常に大事になります。

浅草、仲見世は、東京で一番魅力的な歩行道とっており、これからの時代の道を考えるヒントがたくさんあるのではないかと考えています。浅草文化観光センターの設計にあたり、人間が歩く感じを大通りの高さ40mの建築でも実現したいと考え、また、歩いている人間が触ってみたいくなるような質感も重視しました。これらは家（住宅）が備えているもので、村野藤吾氏も非常に素晴らしい、人間に優しいクオリティを、都市の建築の中で実現しています。

メイン・ストリートの競争の時代が始まっています。御堂筋は、銀座の中央通り、パリのシャンゼリゼ、ニューヨークの五番街とも戦わなければならない。場所の力、個性を、どうその通りに反映させるかという技も重要です。

機能の複合性がこれからの大通りの鍵になり、まちの中心に機能複合がないと楽しくないと言われてきています。ジェーン・ジェイコブスが有名な『アメリカ大都市の死と生』という本の中で、機能複合の重要性を説いています。浅草の観光センターも様々な機能が複合し、通路でつながれ、都市の魅力として機能しています。一つの建築の中にも複合性があり、さらに大通りの中にも機能が集まっている複合性です。また、複合性は大通りだけを考えていては駄目で、その裏を含めての複合性というのが非常に大事。世界で魅力的な大通りも一つ小道を入るとそれとはまた別の世界があり、そこから面白い文化が生まれている。そこまでを含めてのメイン・ストリートの整備が課題です。

加えて、夜遅くまで人間がいるまちというのもこれからのメイン・ストリートにとって非常に大事なこと。夜遅くまで人間が楽しめる仕組みを、制度的にも、経済的にも準備し、整備していかなければならないと思います。



浅草文化観光センター
(出典：台東区ホームページ)

空間やそこでのにぎわいが、まちのあり方、文化を変えていく

長岡駅前的大通りに面した市庁舎、「アオーレ長岡」。長岡では一番大きい通りですが、車社会で人間が歩かない寂しい通りとなっていました。こうした状況は地方都市の各所で起こっています。そこで、市長が市役所を都市の中心に持ってきて人間が歩くまちに変えたいということで、僕らの提案、アイデアに賛同してくれました。それが土間のスペースをつくるということです。

質感の中でも特に重要なのが床です。日本人は、特に床の質感に敏感な民族と言われています。土間の感じを現代空間に創ることができないかと考え、できあがったのが「ナカドマ」と呼ぶ空間です。

ニューヨークのブライアントパークでも、椅子を全部動かせるものに変えたら、雰囲気が一変し、それまで危険だと言われていた公園が、市民が集まる場所が変わった、という有名なエピソードがあります。ここでも家具を動かせるものとしたら、子どもたちがたくさん来るなど、来訪者が多様な使い方をするようになりました。

加えて、いくらハードだけを頑張っても駄目で、いろんなイベントを常時仕掛けるといふ努力も必要です。これからの都市の重要なメンバーの一つにNPOがあると思っており、団体のスペース、活動が場所の活性化に大きく寄与しました。

1階にはガラス張りで通りから見える議場が実現しており、音楽会などが催されます。材料も地元のものを使っています。材料は探すといろんなものがあり、長岡では雪さらしの和紙やつむぎなどを使って、従来のイメージを変える市役所ができました。



アオーレ長岡 (出典：長岡市ホームページ)

今や人口 28 万人の市で年間 130 万人が訪れています。イベントのにぎわい、空間の魅力を創り、そこから人が周りのレストランへ波及すれば通りがにぎわい、シャッター通りの危機のあった大手通りは、すっかり違う通りに生まれ変わりました。

また、太宰府天満宮の門前に計画したスターボックスの店舗。日本らしい、この場所のキャラクターのあるスターボックスをつくらうと提案し、木組みの建築としました。出来上がると、太宰府の一大観光名所になり、インバウンドも含めてたくさんの方が記念撮影するスポットになりました。

1970 年代に、アメリカの広場やストリートでコーヒーを飲むようになって、そこから文化が変わりま

した。これからストリート、まちの在り方は大きく変わっていく時代、「こんなものがここにできるわけがない」と言っていたものが、10~20年経って当たり前になる、そういうつもりで御堂筋も取り組んでいただきたいと強く思います。

東京・晴海通りの「歌舞伎座」と、大阪・御堂筋の「旧・新歌舞伎座プロジェクト」

東京の歌舞伎座も、ストリート文化を考えながら設計したものです。以前の歌舞伎座を設計した岡田信一郎氏、吉田五十八氏も、都市の顔をつくる、大通りに面した顔をつくるには、どうしたらいいかということをしちんと分かった人だったと思います。晴海通りに、シンボリックだけどヒューマンスケールもある、ちゃんと陰影があって、材料も素晴らしいものを使われていました。

歩く人間にとって魅力的なまちのにぎわいとして、広場のような空間に人がたまることが重要と考え、道路に面した広場を歩けるようにし、雨の日でも濡れないようにひさしを深くしました。また、木挽町通りという通り側もガラス張りでお店が全部見えるようにし、裏通りまで含めてのにぎわいをつくろうとデザインしました。市民がアプローチできる歌舞伎ミュージアム、日本庭園もあり、まちの一部となるような機能複合施設にしようということを考えました。歌舞伎座ができたことで、着物を着て銀座を歩く人の率がすごく上がったと言われました。なかなか良い話、嬉しいエピソードです。

大阪の旧・新歌舞伎座は「ロイヤルクラシック大阪」として、2019年の秋オープンの予定です。都市の大通りの大きな間口にはシンボリズムが必要であり、この間口をどう処理するか。連続唐破風という日本の建築の神髄であり世界にも例のないデザインで対応し、間口の大きさを際立たせ、しかも、それぞれの唐破風の下に気持ちのいい影をつくっており、村野建築でも独創性という点ではナンバー1だったのではないのでしょうか。

そこで、東京の歌舞伎座と同様に分節をし、唐破風の持っている象徴性、都市に対する独特のジェスチャーを最大限そのまま発信してもらおうというデザインにしています。中の空間も通りとつながったパブリックなスペースを取り、通りからにぎわいが感じられるようにしています。



ロイヤルクラシック大阪
(出典：(株)ベルコ記者発表資料)

御堂筋界限でのプロジェクト

御堂筋界限でも幾つか手がけたものがあります。ルシアン・ペラフィネの店舗ですが、東京ではミッドタウンの中にありますが、心齋橋の方が高いものがどんどん売れるというので、大阪はすごいなと思ったのが記憶に残っています。また、LVMH、モエヘネシー・ルイヴィトンのビルも、この通りにしかない質感のものをつくろうということで、大理石を薄くスライスして光を通す設えとしました。

中国ほかのプロジェクトに見る、都市づくりの転換

中国でも車離れが進んでいるなど、大きく都市づくりが変わっています。北京の中心部の前門地域の再生に携わっていますが、中国政府は方針転換しており、もう超高層を建てさせないと。胡同（フートン）や周りの家も保存し、新しい歩けるまちに造り替えています。あまりにきれいなまちができるので「私の事務所を引っ越したい」と言ったら、デザイナーやアーティストは大歓迎ということでした。

ウォーカブルな都市、ペDESTリアン・ライフを享受できる都市が、中国も含め世界中で展開されています。そういう競争に世界が動いていることをいろいろなプロジェクトで実感しています。

東日本大震災の復興のプロジェクトにおいても、ストリート、通りを中心にしたまちづくりとして、

通りのにぎわいをつくるにはどうしたらいいかというところから全てのまちづくりを考えています。

品川～田町間に計画されている新駅も、まちから連続するストリートとしての駅、というコンセプトでつくっています。材料は木で、白い幕屋根がかかり、通りからそのまま連続しています。駅は歩く人間が楽しくないといけない、というコンセプトでつくっており、事業者も理解してくれています。

新国立競技場も、ヒューマンスケールで、質感があって、影があってというつくり方で、これまでのお話を聞いて頂いていると、新歌舞伎座のひさしが連続しているつくり方などと、実は良く似ているということに気付かれると思います。8万人を収容する大きな建物ですが、歩いている人間からヒューマンに感じてもらうために、水平に分節し、木をふんだんに使い、緑も絡んでいます。周りの環境に対しても優しい、人間にとって優しいスタジアムが基本的な考え方です。できることなら、47都道府県の木を全部使い、全国でも盛り上げられるようなスタジアムにしよう、ということもやっています。

人間とまちとの関係が、これからの御堂筋にとって競争力の源泉になる

人間とまちとの関係が変わってきて、やはり人間が自分でまちをつくっているという意識が必ずなければ駄目だ、出来上がったものも人間くささがなければ駄目だということを実感しています。これまでの、20世紀のまちのつくり方とは全く異なるまちが求められていると思います。そういう人間くささのあるまちが、最終的には競争力があって、人がたくさん集まり、世界の中で生き残っていくまちになると思います。そういう意味では、御堂筋において、歩道が広くなって、いろんなことができると、非常に競争力が高まり、世界の御堂筋になれるのではないのでしょうか。

ミナミ御堂筋の会顧問・嘉名先生 挨拶

隈先生のお話を大変楽しく聞かせていただきました。建築物とまちとの関係、通りとの関係、それから、非常に大きな構造体であっても質感へのこだわりなど、これから御堂筋を大阪の顔として、あるいは世界に通用するメイン・ストリートとして、どう実現していくかということの中で、非常にたくさんの示唆を頂いたと思います。

御堂筋は完成 80 周年、人間に例えると傘寿ということで、皆さんとお祝いできるのを大変楽しみにしています。御堂筋の計画はさかのぼると 1918 年になります。今から 99 年前に幅員 44m の通りをつくるという計画を、当時の市長であった関さんが考えられます。それまでの道路幅員は 6m だったのを 44m にするという途方もないことを考えられた。それが今、なかったらと考えると、大阪は一地方都市としてぱっとしないまちになっていたのではないかと思います。

先人の大きな夢を受け継ぎ、今、我々は生きているということを見ると、80 周年を迎え、さらに 100 年後という時を迎えたときにも「良い御堂筋だ」と胸を張って言える通りにしていくことを考える必要があると思います。

人のための空間、建築とまちが一体になった空間、それから質感のある、歩いて楽しい、みんなが来たいと思う空間、単一の機能ではなくいろんな機能が混ざり合った空間、御堂筋に行ったら何か面白いことをやっているワクワクするような期待感のある御堂筋を、ぜひつくっていききたいと思います。

ミナミ御堂筋の会をはじめ、沿道の地権者の方々、あるいはミナミのまちづくりをされておられるいろんな方々のお知恵、アイデアをいただきながら、これからも、ぜひ御堂筋を活性化していきたいと思っています。皆さん、これからも、ぜひご協力をよろしくお願ひしたいと思っています。

本日は、どうもありがとうございました。

